

表18

	行番号	郡名	条名	傍注 頭注	朱/墨	本文	注記文	吉田氏本		渡部氏本		古代出雲歴史博物館本 『風土記鈔』		桑原家本 『風土記鈔』		
								本文	注記	本文	注記	本文	注記	本文	注記	
1	341	島根	梶島	傍注	墨	二百[州]歩	イニ冊	二百州歩		二百州歩		二百州歩				
2	553	出雲	神社	傍注	墨	御向[社]	イニ祖在リ	御向社		御向社		御向社				
3	555	出雲	神社	傍注	墨	「番」伎乃夜社	イ雷	番伎乃夜社		番伎乃夜社		番伎乃夜社				
4	556	出雲	神社	傍注	墨	「伊」波社	イニ卯	伊波社		伊波社		伊波社				
5	597	出雲	出雲大川	傍注	墨	更「[木付]」	イニ析	更「[木付]」		更折		更折				
6	884	大原	郡名	傍注	墨	田一十町[「]	イ計リ	田一十町×		田一十町許		田一十町許				
7	99	意宇	安来郷	傍注	墨	「浄」圍繞	浄坎	浄圍繞		浄圍繞		浄圍繞				
8	153	意宇	新造院	傍注	墨	置[郡]根緒	君坎	置郡根緒		置[郡]根緒	傍注	部坎		置郡根緒		
9	168	意宇	神社	傍注	墨	「予」穗社	八市ノ原坎	予穗社		予穗社		予穗社				
10	342	島根	許意島	傍注	墨	高一十[「文」]	歩坎	高一十丈		×××	脱落			高一十丈		
11	559	出雲	神社	傍注	墨	加[立]利社	毛坎	加立利社		加立利社				加立利社		
12	561	出雲	神社	傍注	墨	「尔」豆伎社	支坎	尔豆伎社		尔豆伎社				尔豆伎社		
13	372	秋鹿	恵曇郷	傍注	墨	造「事」者	給力	造事者		造事者				造事者		
14	412	秋鹿	恵曇殿	傍注	墨	参「殿」	八池坎	参殿		参殿				参殿		
15	462	幡縫	沼田郷	傍注	墨	「負」然	八頂力	負然		負給之然				負給之然		
16	519	出雲	健部郷	傍注	墨	社「主」今	至坎	社主今		社「主」今	頭注	私云、主衍字坎		社主今		
17	545	出雲	宇賀郷	傍注	墨	「□」人	邑力	□人		□人	頭注	私云、□人八里 人坎、亦八幾人 坎		「□」人	傍注 里也、 又幾也	(傍注) 里坎又幾坎
18	579	出雲	神社	傍注	墨	「伊」尔社	八卯波力	伊尔社		伊尔波×				伊尔社		
19	724	神門	神門水海	傍注	墨	「乎」須	平砂坎	乎須		乎須				乎須		
20	789	飯石	須佐川	傍注	墨	「門」立村	八鷗坎	門立村		門立村				門立村		
21	656	神門	日置郷	傍注	墨	「置」	日ノ字脱スルカ	×置		×置				×置		
22	900	大原	海潮郷	頭注	墨	宇能「活」比古	活八治坎	宇能活比古		宇能活比古				宇能活比古		
23	966	巻末	通道	傍注	墨	東「邊」	道坎	東邊		東邊				東邊		
24	117	意宇	拝志郷	頭注	墨	拝志郷	順和名抄、来待郷在リ、来待八能義郡割分ノ時、里為郷坎	拝志郷		拝志郷				拝志郷		
25	251	島根	神社	傍注	墨	「努」那弥社	今野波ト云カ	努那弥社		奴那弥社				努那弥社		
26	392	秋鹿	神名火山	傍注	墨	山下「之」	八坐ノ字	山下之		山下之				山下之		
27	392	秋鹿	足日山	傍注	墨	「足」日山	八今朝日山ト云ナラン	足月山		足日山				足日山		
28	512	出雲	総記	傍注	墨	伊努郷「」	伊努ハ今林木ノ郷坎	伊努郷		伊努郷				伊努郷		
29	523	出雲	健部郷	傍注	墨	「健部」	姓氏録ニ健部ノ姓アリ、宇屋健部ノ二名在于今也	健部		健部				健部		
30	529	出雲	河内郷	傍注	墨	五「尺」	八寸也	五尺		五十				五尺		
31	73	意宇	郡名	傍注	墨	有「」伯耆	名	有伯耆		有伯耆				「有」伯耆	傍注 在	
32	545	出雲	宇賀郷	頭注	墨		纂疏云、黄泉平坂今出雲国、風土記曰、宇賀郷、自磯西方有窟高廣各六尺許、窟内有穴、人不得入、又不知深淺、号黄泉坂									
33	562①	出雲	神社	傍注	墨	同「」社	古老云、此ノ同社ト云ヨリ阿受枳社タルヘシト也	同社		同社				同社		
34	622	出雲	門石嶋	傍注	墨	「門石嶋」	考旧記、永正七年午三月二十六日、安置弁才天于此岩上、故俗云弁才天島	門石嶋		門石嶋				門石嶋		
35	635	出雲	郡司	行間	墨	(行間)	△園、所謂所造天下大神之御園也、自離宮村以南至湊川(此出雲神門二川之水門也)十八町餘ノ連山都曰之園、見視之、五十年前赤塚村ノ南長二町餘、廣壹町計、砂山殘突而古松猶存矣、其東原野數十町之間、高七八丈廣一二町ノ山数点有之、俗曰之北山匿、思夫川東流而後早瀬都乾、西北風来而年々山崩、砂流東積而成白砂堆矣(俗号高濱)、堀尾山城守高階忠晴朝臣、国司之時、元和二年辰之春、決池澤於西(号堀川)流而入之大海、其跡潤而為田園也、今新田(菱根・江田・八馬・入南・馬見、開発之時、百姓之名氏以為村号也)、然寛永十年酉五月二十七日、洪水泛溢、壞山襄陵、塘崩川填、以為平原矣、又寛永十七年辰之春、国司松平出羽守直政朝臣、課数郡之民力以決二川一水者、自菱根池穿乙見山、流于赤塚浦、一水者自馬見池合流于湊川、自是五ヶ村之田畝成熟矣、所謂北山匿之□平悉以成原野也、寛文年中、裁松為林下種為園矣	門石嶋		門石嶋		門石嶋				
36	655	神門	日置郷	傍注	墨	「置」郷	和名ニ日置郷アリ	置郷		置郷				置郷		
37	709	神門	神門川	傍注	墨	「間①」「土②」村	①間来村、②伊土村	間土村		間土村				間立村		
38	835	仁多	神社	頭注	墨	石垂×	石垂八、岩坪大明神坎、尾原村ニアリ	石垂×		石垂×				石垂社		
39	935	大原	草木	傍注	墨	「卑」解	草	卑解		萑薺				萑薺		
40	942	大原	河川	傍注	墨	無魚「」	幡屋小川源出郡家東北幡箭山南流(無魚)～脱落文の補訂	無魚								
41	943	大原	河川	頭注	墨		△水曰氷合西流入出雲大川 △屋代小川、出郡家正東正除田野、西流入斐伊大河～脱落文の補訂									
42	972	巻末	通道	傍注	墨	(行間)	令義解曰、長三十歩廣十二歩為段、十段為町、[]地五尺為歩、三百歩為一里									
43	994	巻末	軍団	傍注	墨	土「棕」烽	土倉山力	土棕烽		土棕烽				土棕烽		
44	996	巻末	軍団	傍注	墨	「暑」恒烽	星神山力	暑恒烽		暑恒烽				暑恒烽		
45	999	巻末	識語	傍注	墨	「天平」五年	八聖武帝改元ヲリ廿年迄有	天平五年		天平五年				天平五年		